



みねのぶ

迎春



■発行日/平成31年1月1日/No.1401号

■発行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社

平成31年の新春にあたり



代表理事組合長
森川和徳

平成31年の新春にあたり、組合員皆様、ご家族皆様がご健勝で新年を迎えたことに心よりお慶びを申し上げます。日頃より地域の皆様には、峰延農業協同組合の事業各般にわたりご理解とご支援を賜っております。また、関係機関の皆様よりご指導とご支援を頂いておりますこと、お礼申し上げます。

昨年（平成30年）の営農を振り返りますと、順調な雪解けによつて春の育苗から田植え（3月から5月一杯）までは天候に恵まれ、平年に比べ田植えが2、3日早く始まりました。6月に入つてからは初期除草剤によつて薬害が出るほど気温上昇、5月20日以降降雨がなく6月8日になつてやつと降り始めた雨は、水稻にも麦にも、大豆にも慈雨となるはずでした。しかし、低温を伴つた雨は、大豆の発芽を促すものにならず、長期間にわたつた降雨は日照不足の悪影響を小麦に与えました。のみな

ら、水稻は栄養成長のこの期間に分けつが進まず、7月上旬まで続いた不安定な天候は幼穂形成期に最低気温の低下が続き、深水管理始め細心の注意を払つて組合員の皆さんの努力があつたものと思います。組合員皆さんの最善を尽くした営農努力があつても今年の異常気象下での作況指数87の結果でした。水稻以外の、麦、大豆も、6月以降の異常な気候によつて惨憺たる結果となりました。天候の影響を大きく受けた農作物の出来が収入を左右する農業は、人智の及ぶ、最善を尽くすことにつきましては、峰延農業協同組合の結果を真摯に受け止め、本年に向かつて参りたいと思いま

たが、管内であつても2日以上復旧が遅れた地域もあり組合員皆さんも大変な思いをされたことと思います。その上昨年は、9月5日には台風21号による強風で農舎のシャッターの破損、100数十棟のビニールハウスは倒壊し、ビニールが破損し、農協管内に大きな被害をもたらしました。台風の脅威の去りました翌6日早朝、胆振東部地震が発生しました。地震の震度は本道で初めて震度7を記録し、厚真町を中心多くのが犠牲になりました。また、地震の震源地に近いところにあつた苦東厚真火力発電所が被災し、北海道の電力供給はストップし、「ブラックアウト」状態となりました。停電は日

の店内は真っ暗、冷凍食品は溶け出しました。苦東にある精油所は操業できず、ガソリンスタンドも電気なしにはガソリンの供給はできません。あと少し電力供給が遅れたら、携帯電話さえも通話が不能になる一步手前の事態でした。6日早朝より幹部職員を招集し、この非常事態に対処するために打ち合わせを行い、組合員の皆さんとの状況把握、農協の施設の状況把握、職員の自宅の状況、信号機が作動していない状況を考え電力が回復するまでは幹部職員以外の自宅待機をそれぞれの職員の居住エリアごと置かれている状況を鑑み指示しました。峰延農協事務所は幸いにして早く電力が復旧しましたが、管内であつても2日以上復旧が遅れた地域もあり組合員皆さんも大変な思いをされたことと思

います。昨年、当農協として初めて10月20日、峰延中学校の体育館を使わせて頂き報徳交流会を開催し、第一部を二宮尊徳7代目子孫の中桐万里子様の講演、第二部はわらび座によるミュージカル「KINN ZIRO！」本当におもしろい二宮金次郎」を上演することができます。多くの皆様にご来場と賛助金のご協力を頂きよい報徳交流会をすることができました。昨年は6名の新入職員を迎えました。また、今年4月には新たに2名の新人の入組を予定しています。

この店舗は真っ暗、冷凍食品は溶け出しました。苦東にある精油の資格を取得し、当農協の正職員への転換試験を経ての正職員登用は数名予定しています。若い職員が迷惑をかける面が多々あるかとは思いますが、育てて頂きたく宜しくお願ひ致します。

3年前にご承認頂いた第9次地域振興計画、農協中期計画から次の計画を提案させて頂きます。良質農産物を圃場で生産し、農協の施設でロット化し峰延産として有り販売していくものです。今年は3年前に計画しスタートした大豆乾燥調製施設が稼働致します。組合員皆さんには最新装備の施設をご利用頂き有利販売に向かって行きたいと考えています。

また今年は当農協の役員の改選期となります。国内外の大きな変化の渦中にあつて、組合に結集し、協力をお願いする次第です。峰延農業協同組合は地域の発展を図るため、よりいつそうのご利用を頂くための課題を整理し改善協力をお願いする次第です。

峰延農業協同組合は地域の発展を図るため、よりいつそうのご利用を頂くための課題を整理し改善に努める責務を果たして参ります。本年が組合員皆様、地域の皆様におかれまして、ご健勝で夢叶う年となりますよう御祈念申し上げます。

新春に迎えて組合員皆さんへのご挨拶とさせて頂きます。

平成31年の年頭にあたり



北海道農業協同組合中央会
会長 飛田 稔章

組合員並びにJA役職員の皆様には、輝かしい平成31年の新年を迎えたものと心よりお慶び申し上げます。

皆様におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

昨年の北海道農業は、春先は気温も高く、農作物の生育は平年並みで推移しましたが、7月の豪雨や台風21号により、農作物の倒伏や落果、農地・農業用施設の損壊など、全道各地域に甚大な被害が発生しました。

さらに9月6日に発生した北海道胆振東部地震により尊い命が失

われるとともに、農畜産物や農業施設等に未曾有の被害が発生し、道内全域が停電となる「ブラックアウト」の発生により、組合員の営農やJAグループ北海道・農業関係組織の集出荷、輸送、製造、保管体制に多くの影響が生じてしまいました。

現在、JAグループ北海道を挙げて、1日も早い、復旧・復興に向け、全力でその支援対策に取り組んでいるところであります。

作目別の作況をみると、米は、作況指数が90の「不良」、小麦は、天候不順の影響により、収量・品質とも平年を下回る結果、てん菜は、収量・糖度とも概ね平年並み、生乳は、胆振東部地震の影響と、今後は飼料作物の品質低下等による生乳生産への影響が懸念されているところです。

国際貿易交渉については、9月27日、日米両国が「日米物品貿易協定」(TAG)の交渉開始に合意したことが発表されました。

今後、TAG交渉において、米

国側から過去の経済連携協定で合意した以上の関税引き下げを求める懸念があるため、その動向を注視していくとともに、農畜産物を犠牲にしない毅然とした対応を求めてまいります。

さて、昨年11月には、第29回JA北海道大会を開催しました。大会では、前回大会の決議事項を継承し、「農業所得増大」と「担い手確保・育成」の加速に取り組むとともに、「サポートアーバン」の活動拡大として、地域と共に支える准組合員の皆さんのご意見の把握に、これまで以上に取り組むことを決議しました。

また、協同組合の原点を、あらためて見つめ直し、「新たな協同組合」の姿を継続的に討議することも決議しております。今後、組合員の多様な価値観やニーズに対応できる事業運営の展開を検討してまいります。

結びになりますが、今年の干支は己亥(つちのと)です。

亥には、「無病息災」や「安定した状態で始動を待つ準備期間」の意味があるとのことであります。

今年はこの亥年にあやかり、災害がなく、そして組合員の苦労が報われる実り多い豊穣の一年となりますよう、併せて、北海道農業並びに組合員、役職員の皆様の一年の発展を心よりご祈念申し上げ、新年にあたつてのご挨拶といたします。

そして、この3年間の実践期間のうちに、2019年5月には政府が進める「農協改革集中推進期

間」の期限、2021年3月には「准組合員利用規制の調査期限」を迎ますが、JAグループ北海道としては、改革は自ら行うものとして、「『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』」の実現に向

けて、JAグループ一丸となつて、大会決議事項の実践を通じた自己改革を進めてまいりたいと考えて

おります。

**第11回（12月定例）
理事会開催**

12月19日開催の第11回（12月定例）理事会において次の事項が決定されました。

◇付議事項 ◇

1. 諸規程等の一部改正について
2. 北海道による農業協同組合検査の「農業協同組合検査指摘事項・対応状況等報告書」の提出について
3. 第3四半期監事監査改善事項への回答について
4. 決算実地棚卸の実施について
5. 年末手当の支給について

一報徳

今まく木の実のち
の大木ぞ

翁のことばに、世の中は、大も小も限りがない。浦賀港では、米を数えるのに大船で一艘二艘といい、江戸の蔵前では、三蔵四蔵といつて数えて、俵の米などはものの数でないようみえる。けれどもその米とて、別に大粒というわけではなく、通常の米なのだ。その粒を数れば一升で六七万粒はあるだろう。だから、一握りの米も、その数は無量といってさしつかえない。ま

してこの米粒の功德ともなれば、文字どおり粒々辛苦の米粒を日々無量に食つて人が命をつないでゆく。この功德はまた無量ではないか。よく考えるがよい。

それゆえ人は、小さい小さい行いを積んでゆくのが尊い。わが日掛縄索法のごときは、人々が疑わず勤めるから進んでゆく。それは小を積んで大をなす方法だからだ。一わの縄でも、一錢の金でも、乞食に施す類ではない、實に村民平等の利益を積む正業であつて、国家興復の手本なのだ。大きな事は人の耳を驚かすだけであつて、人々が出来そうもないとしてやめてしまえば、それまでのもの、たといやめないでも成功は遂げがたいものだ。今ここに何万両の金持ちがあつたとしても、必ずその祖先は一鉢の手業から始めて、小を積んで富にいつたに相違ない。大きな舟の帆柱や、永代橋の橋杭などのような大木でも、一粒の木の絆から生じて、幾百年の星霜を経

て、寒暑風雨の患難をしのぎ、日々夜々に精氣を運んで生長したものだ。ところで、昔の木の実ばかりが大きくなるのではなく、今この木の実もやはり大木になることは疑いない。昔の木の実は今の大木、今の木の実は後世の大木だ。この事をよく覚えて、大をうらやまず、小を恥じず、早く速くと思わず、日夜怠らずに勤めることが肝要だ。「昔まく木の実大木となりにけり 今まく木の実後の大木ぞ」

（夜一六三）

JA一部業務の臨時休業のお知らせ

日頃から当JAをご利用いただき誠にありがとうございます。年度末決算棚卸のため下記の通り一部の業務を終日臨時休業いたします。ご迷惑をお掛けしますが、何卒ご理解頂きますようお願いいたします。

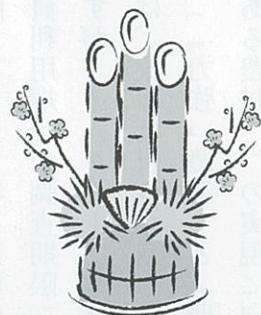
なお、下記以外の業務は通常通り営業いたしますのでご利用をお待ちしています。

記

臨時休業する日 平成31年1月31日（木）
臨時休業の業務
・営農資材店舗
・精米所
・倉庫

（JAみねのぶ 総務課）

| | | | |
|-------|------|------|------|
| 員外監事 | 代表監事 | 理事 | 常務理事 |
| 佐々木喜一 | 高田邦彦 | 望月豊忠 | 森川和徳 |
| 外職員一同 | 浅香仁 | 吉村俊 | 伊藤俊春 |
| | 本博 | 渡辺雅彦 | 安達進 |
| | 田智彦 | 加藤彰彦 | 伊藤俊春 |
| | 山忠 | 豊忠 | 森川和徳 |
| | 北野 | 実忠 | 伊藤俊春 |
| | 香邦 | 豊忠 | 安達進 |
| | 仁 | 忠 | 伊藤俊春 |



**道産食材コロッケコンテストで
大賞受賞のコロッケに
峰延産バスカツプ使用**

北海道経済連合会と一般社団法人日本能率協会が主催して、道内の学生が道産食材を使ったコロッケのレシピを競うコンテストが昨年11月29日に札幌市で行われ、一次審査を通過した5チームが参加しました。大賞を受賞したのは当JAと交流のあるNPO法人Ef fy（エフィ）理事長の坂本星美さん（天使大学4年）が考案した「ハーティカッピコロッケ」で、ハスカツプを2種類のチーズ、タルミ、バレイショと合わせ、甘味があつて少し酸っぱく、ハスカツプに含まれるアントシアニンは美容に効果が期待できるとアピール。このコロッケに使われているのが峰延産のハスカツプです。

NPO法人Ef fy（エフィ）は当JAと交流があり毎年8月末に開催のJA峰延祭等に参加する縁があつて当JAのハスカツプを使用しました。

子供のいる風景フォトコンテスト表彰式



JAみねのぶ賞を受賞した山崎夕李さんの作品
「いい湯だな♪はははん♡」

美唄市こども未来課が作品募集を開始、10月1日まで応募の受付をしていたもので、51作品の応募が集まり、その中から優秀作品賞として「大賞」（美唄市）「JAみねのぶ賞」（JA峰延）「JAびばい賞」（JA美唄）「岸本組賞」（岸本組）等の各賞に1作品を選んだものです。「JAみねのぶ賞」のプレゼンターに森川組合長が参加し賞状と新米「ななつぼし」5kg・3kgをセットで受賞の山崎夕李さんに贈呈ました。

のいる風景フォトコンテストの表彰式が行われました。「子供のいる風景フォトコンテスト」は美唄市広報誌の昨年7月号に掲載していました。JAみねのぶ賞を受賞した山崎夕李さんは、JAみねのぶ賞（JA峰延）、「JAびばい賞」（JA美唄）、「岸本組賞」（岸本組）等の各賞に1作品を選んだものです。「JAみねのぶ賞」のプレゼンターに森川組合長が参加し賞状と新米「ななつぼし」5kg・3kgをセットで受賞の山崎夕李さんに贈呈ました。

JA青年部が
青年大会開催する

11月29日、JA三階会議室でJA青年部が本年度の青年大会を開催しました。青年大会は青年部の1年間の成果を報告する場で、多くの盟友が出席しました。

今年の営農試験研究は「きたほなみの播種量の違いによる収量・品質調査について」で試験結果を発表しました。この試験結果を今後役立てて営農に取り組むことになります。



受賞した山崎夕季さんに賞状と新米を贈呈する森川組合長



稻作の部優秀賞を受賞した目黒泰行さん

続いて、空知農業改良普及センターの山田専門主任が講師となり大豆の栽培についての講習会、当JAの奥山職員が水稻20日苗生育確認試験結果を発表しました。

研修報告は、目黒泰行さんと白石一馬さんが道外研修報告、荒井翔悟さんが海外研修報告を行いました。

研修報告は、目黒泰行さんと白石一馬さんが道外研修報告、荒井翔悟さんが海外研修報告を行いました。

作の部優秀賞に目黒泰行さん、麦作の部優秀賞に仲河守さん、ハーブ米の部優秀賞に小川浩之さんが選ばれました。

作の部優秀賞に目黒泰行さん、麦作の部優秀賞に仲河守さん、ハーブ米の部優秀賞に小川浩之さんが選ばれました。

空知管内JA女性部研修大会（家の光大会） 主催 JA空知女性協議会、家の光協会



参加した吉村部長、小川副部長、
フルッシュミズの杉本リーダー

女性部が空知管内JA女性部研修大会・家の光大会に参加

12月4日、岩見沢市内のホテルサンプラザで開催された「空知管内JA女性部研修大会・家の光大会」に空知管内JAの女性部員約200名が集まり、当JA女性部（吉村俊子部長）から3名参加しました。

大会では、管内から代表となつたフレッシュミズ部会による「フレッシュミズ作文コンクール」、11月の全道大会で発表された「家の光記事活用体験発表」とその表

彰、「家の光読み聞かせ（読み聞かせ）」が行われた後、一般社団法人家の光協会北海道東北普及部の平間聰局長による『家の光読書会の進め方』と題した講演が行われました。講演後、TVでもおなじみの予備校教師林修先生が徹底解説する『協同組合って何?』というビデオ上映が行われました。

昼食を挟んで午後からは、函館で展開しているハンバーガー店のラッキー・ピエログループ会長の王一郎氏による『B級グルメダンツツ地域NO.1パワー・ブランド戦略』と題した講演が行われ、ラツキーピエロの食材はもちろん「地産地消」で、米は道南産ふつくりんこ100%とのこと。ラツキーピエロで人気NO.1のチャイニーズバーの誕生秘話や地域に特化した経営方針、各店舗にあるテーマについてなど、王会長が面白くかつ楽しくお話しをされる姿に参加した部員達は真剣に耳を傾けていました。

おくやみ申し上げます

尾田 ヨネさん (92歳) 11月24日
美唄市峰延町峰樺3区



児童の代表から表彰状を受取る伊藤副部長

南美唄小学校米作り体験 発表会でJA青年部に感謝状

12月3日、南美唄小学校で今年当JAで行つた米作り体験の発表会が行われ、田植え、稻刈り、脱穀作業の受け入れ支援を行つたJA青年部が招待を受け感謝状と収

**国税電子申告・納税システム(e-Tax)をご利用ください
～所得税の確定申告でe-Taxをご利用いただくメリット～**

- 税務署に行かずに自宅から申告できます。
- 源泉徴収票等は、その記載内容を入力して送信することにより、提出又は提示を省略することができます。
- ※法定申告期限から5年間、税務署から書類の提出又は提示を求められることがあります。
- 自宅や税理士事務所からe-Taxで提出された還付申告は3週間程度で処理しています。
※1月・2月に提出された場合は、2~3週間程度で処理しています。
- 確定申告期間中は、24時間いつでも利用可能です。
※メンテナンス時間を除きます。

岩見沢税務署

小島 四郎さん (94歳) 11月27日
美唄市豊葦町一区
大槻 貞雄さん (90歳) 12月8日
美唄市光珠内町北
渋谷 賢次さん (94歳) 12月10日
美唄市光珠内町3区
林 キミ子さん (93歳) 12月23日
美唄市光珠内町北
美唄市峰延町峰樺3区
美唄市峰延町峰樺3区
美唄市峰延町峰樺3区

（94歳）11月27日
美唄市豊葦町一区
大槻 貞雄さん (90歳) 12月8日
美唄市光珠内町北
渋谷 賢次さん (94歳) 12月10日
美唄市光珠内町3区
林 キミ子さん (93歳) 12月23日
美唄市光珠内町北
美唄市峰延町峰樺3区
美唄市峰延町峰樺3区
美唄市峰延町峰樺3区

穫されたお米で作つたおにぎりが贈呈されました。

米作り体験の発表は、田植え体験、稻刈り・はさ掛け体験、脱穀体験を行つた児童達がテーマに沿つたプレゼンテーション用スライドを作成し、会場に集まつた児童、先生、父兄、青年部の前で発表を行いました。

発表者は前に出て、発表する役割、パソコン操作する役割を交代で担い、大きな声で発表を行つていました。

峰延小学校 おこめパーティーに招かれる



調べたことをスライドソフトにまとめて発表する児童

12月13日、峰延小学校で開催された”おこめパーティー”に本年度の米作り体験を支援したJA青年部が招かれ、代表して青年部部長の中越健祐さん、組織専門委員長の今野佑太さんとJA担当者の横田職員が参加しました。

おこめパーティーでは、5・6年生の児童7名が当JA管内で春から秋まで行つた、田植え、稲刈り、はさ掛け、脱穀の米作り体験等を3グループに分かれ、グルー

プ毎に発表テーマを決めてPCのスライドソフトにまとめて、校長先生、教頭先生、美唄市教育委員会職員、青年部員の前でスライドを見せながら説明しました。学習の目標は「お米博士になろう」で、米作り体験をまとめた「米の育て方」以外に自分達で調べた「米の種類の変化」「米食品の進化」で、青年部員の皆さんも関心していました。

発表会の後は、家庭科室に移動し米作り体験で収穫した米で作つたおにぎりと豚汁を作り全員で食べました。家庭科室に入るとテー

児童が作った豚汁・おにぎりを食べる
青年部の皆さん

ブルのランチョンマットには招待した方の氏名やおにぎりの中身等が書かっていました。

5年・6年生の7人の児童は朝から材料を刻んで味付けし豚汁を作りました。おにぎりも児童が握り大きさ、塩加減も様々でした。

豚汁もおにぎりも大変美味しく、青年部の皆さんはお代わりをしていました。

食事の後は、児童7人がお米に関するクイズが書かれた用紙を持ち前に立つて、招待者や校長先生、教頭先生を指名して出題していました。



食事のあとはクイズです



活動日は週2回で、水曜日の午後1時30分から午後3時30分、土曜日の午前10時から12時までです。卓球サークルでは、峰延地域の皆さんと交流を深めながら活動を

J A 女性部 卓球サークル活動開始

J Aみねのぶ女性部（吉村俊子

部長）では、12月5日から卓球サークル活動をスタートしました。

このサークル活動は、雪が降るこの農閑期を利用して互いの交流を図りつつ、運動不足になりがちな冬期間に健康管理も含めて皆さんで楽しく行っています。

活動日は週2回で、水曜日の午後1時30分から午後3時30分、土曜日の午前10時から12時までです。

卓球サークルでは、峰延地域の皆さんと交流を深めながら活動を

行つていきたいと考えております。
雪が積もるこの時期は身体を動かす事が少ないので、私達と一緒に楽しく活動しませんか?

興味のある方は、ぜひご参加下さい。

役員報酬審議会を開催

J A 役員の報酬額は総会の付議事項で毎年開催する通常総会に提案し承認を受けることになっています。また、総会に提案する役員報酬の原案は組合長が役員報酬審議会に諮問し、役員報酬審議会が検討を行い組合長に答申し総会に議案を提出しています。

役員報酬審議会は規程に定められて設置する委員会で5名の委員で構成、手続きを経て選出された方々を組合長が任命し任期は3年です。

12月21日に、新しいメンバーで第1回役員報酬審議会委員が招集され、参考の皆さんに対し森川組合長から今後3年間の任期となる委員の委嘱状が手渡され、平成31年3月に開催の通常総会に提案する役員報酬について諮問されまし



新役員の皆さん

J Aみねのぶ青年部 第71回通常総会開催する

12月21日、JA三階会議室で当JA青年部の第71回通常総会が開催されました。

総会では平成30年度の事業活動報告と収支決算が承認され、続いて平成31年度の事業活動方針と事業計画、収支予算の各案等が原案通り承認可決されました。

役員改選が行われ次の通り選任されました。（敬省略）

樹会

交通事故発生時の連絡先のお知らせ

冬は交通事故が増加する傾向にあります。
JA共済ご契約車の事故時の連絡先をお知らせいたします。

| 曜日・時間帯 | 連絡先 |
|--------------------------------|---|
| 月曜～金曜のJA営業時間内 | JAみねのぶ金融課共済 0126-67-2113 |
| 上記以外及び土曜・日曜・祝日 (24時間365日受付) | <p>J A 共済事故受付センター フリーダイヤル 0120-258-931</p> <p>[連絡事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加入JA名 ・契約者氏名 ・運転者名 ・契約番号 ・事故車のナンバー ・事故の日時と場所 ・事故発生状況 ・相手方の住所氏名 ・損害の程度など |

* JA共済事故受付センターは携帯電話からもご利用いただけます。

※救急119、警察110の連絡をお忘れなく。

と決めました。全国の需給見通しが減っている他、小売の仕入れ見通しも横ばいだつことが理由。加工用米は主な用途である冷凍食品の需要増で増産としました。

米全体の作付面積は2018年
産の目安に比べ829ha増の10万
7848haで、このうち主食用は価
格安定のため、9万8030haに縮
小、加工用は冷凍やレトルト食品な
どの需要増を踏まえ作付面積を拡
大します。

【米生産量の目安】

需要に見合った米の生産量を示す指標。国が2018年から生産数量目標の産地別配分をやめることを受け、各道府県の農業再生協議会が設定。多くは作付面積とセットで設定。作り過ぎや米価下落の歯止めの他農業振興のために確保したい生産量の意味合いを持たせた県もある。

2019年産北海道米生産の目安 前年比0・6%減産

**2019年産北海道米生産の目安
前年比0・6%減産**

【連載】～続・今こそJA！～

【第8回】農協改革への回答は改革プラン

平成26年5月、規制改革会議は中央会制度の廃止や全農の株式会社化などJA潰しとともに答申を発表し、これを踏まえて政府は翌6月に「規制改革実施計画」を閣議決定し、農協組織に自己改革を迫ってきました。JAグループ北海道はこうした動きを見据えて6月17日の全道農協組合長会議で「改革プランの策定」を決定し、8月から9月にかけて全道各地で組合員組織討議が行われました。

改革プランの策定にあたっては、「国からの押し付けではないのか」「今さら遅いのではないか」などJA、連合会段階でも大きな議論になりましたが、最終的にこれまでの事業を見直し、協同組合の原点に立ち返ってプランを策定していくという結論に至りました。改革プランの表紙に書かれた「農業・農協改革は、自らの意志で」という言葉がその時の様子を物語っています。

J A グループ北海道改革プランの柱は4項目、多くの修正や変更を重ねながら同年11月に完成しましたが、これが自己改革の基本指針として翌年度のJA北海道大会決議事項へつながることになりました。

【JAグループ北海道改革プランー実行計画指針ー】

1. さらに儲かる農業の実現
 - (1) 収益向上の取り組み
2. 担い手を育みサポートする仕組みづくり
 - (1) 担い手の確保・育成
 - (2) 組合員の経営サポート
3. 発進！新時代の北海道農業
 - (1) 6次産業化の推進
 - (2) 道産農産物の海外への発信
 - (3) 農業・農村の魅力発信
 - (4) 農業の理解促進（食農教育活動、地産地消の推進）
4. 協同組合の未来方向
 - (1) 多様なニーズへの総合的かつ創造的な対応
 - (2) 協同活動の理解促進
 - (3) 地域社会へ貢献するサービスの提供

みんなで守る「飲酒運転を絶対にしない、させない」

飲酒運転による交通事故は、近年重大事故が発生し大きな社会問題となっています。平成19年の飲酒運転厳罰化、平成21年の行政処分強化などで飲酒運転事故は年々減少していますが、最近は下げ止まり傾向にあり、依然として飲酒運転による悲惨な事故は後を断ちません。飲酒運転は極めて悪質・危険な犯罪です。一人一人が「飲酒運転をしない、させない」という強い意志を持ち、飲酒運転を根絶しましょう。飲酒運転には厳しい行政処分と罰則があります。

【行政処分】前歴及びその他の累積点数がない場合。

欠格期間とは運転免許が取り消された場合、運転免許を再度受けることができない期間。

酒酔い運転 基礎点数35点 免許取り消し 欠格期間3年

*「酒酔い」とは「アルコールの影響で車両等の正常な運転ができない状態」をいう。

酒気帯び運転 ·呼気中アルコール濃度0.15mg/l以上0.25mg/l未満 基礎点数13点 免許停止 欠格期間90日
·呼気中アルコール濃度0.25mg/l以上 基礎点数25年 免許取り消し 欠格期間2年

【罰則】車両を運転した者 ·酒酔い運転をした場合 5年以下の懲役又は100万円以下の罰金
·酒気帯び運転をした場合 3年以下の懲役又は50万円以下の罰金

車両を提供した者 ·(運転者が)酒酔い運転をした場合 5年以下の懲役又は100万円以下の罰金
·(運転者が)酒気帯び運転をした場合 3年以下の懲役又は50万円以下の罰金

酒類を提供した者又は同乗した者 ·(運転者が)酒酔い運転をした場合 3年以下の懲役又は50万円以下の罰金
·(運転者が)酒気帯び運転をした場合 2年以下の懲役又は30万円以下の罰金

お酒を飲んだら運転しない

運転をする人にはお酒を飲ませない

お酒を飲んだ人には運転させない

JAグループ通信

No.30

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、

組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。



JA北海道中央会



次世代の大規模農業経営者の育成を目的とした「北海道アグリフードプロジェクト・アカデミー（農業経営塾）」の第3回講座が、受講生10名の参加のもと、11月29日・30日の両日、札幌市内で開講されました。今回は「人づくり・組織づくり」をテーマに組織開発、労務管理の基礎知識を専門家から学ぶとともに先進事例の紹介もあり、研修のまとめとして、受講生各自が「夢の農業経営」を実現するための「働き方改革実行宣言」を行いました。

JA北海道信連



11月に農業経営者支援の一環として、今年で8回目となる「農業経営フォーラム」を札幌で開催しました。当日は、（有）トッププリバーの嶋崎代表取締役にて「トッププリバー流の人材育成」を、志ネツトワークの上甲代表に「いま経営者に求められるもの～松下幸之助の人づくり～」をテーマに講演頂きました。参加者からは、「人材育成の重要性を理解できた」、「人としてあるべき姿を教わった」など好評を頂きました。



ホクレン



全道のホクレンSSで展開した「2018ラブ&ハートチャリティキヤンペーン」に寄せられた募金と、売り上げの一部を合算した総額300万円を、北海道社会福祉協議会へ寄託しました。当キヤンペーンは、ホクレンの社会貢献活動「HOKUREN SS PROJECT」の一環として実施しており、道内の児童保育施設約810箇所に、絵本などを購入費用として使用いたしました。



J A 北海道厚生連



12月24日（月）から1月20日（日）まで、さっぽろ地下歩行空間に、「アンパンマン×こども共済」の巨大壁面広告（全長14・5m）を掲出します（写真はイメージです）。一般のママ達が選ぶ「マザーズセレクション大賞」を受賞した「こども共済」を年末・年始にかけ全道から札幌へ訪れる方々へPRいたします。札幌にお越しの際は、ぜひ地下歩行空間でご覧下さい！



J A 共済連北海道



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るために、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。

